

昭和56年度 和歌山県文化奨励賞

なん き せいぶつ どうこう かい
南紀生物同好会

設 立：昭和24年4月

所 在 地：和歌山県西牟婁郡白浜町

会 員 数：約950人

◎業績及び経歴

県内はもとより他府県の会員も多く、全国的な組織で動植物の研究活動を続けている。

年間の活動としては、春には海を中心に、夏には山を中心とした自然観察会を行うほか、秋には研究発表会と講演会などを開催している。

自然観察会や講演会には、時岡隆氏、小川由一氏などのほか、主として京都大学の教授陣を迎え、和歌山の海・山の動植物の分布・生態調査等、水準の高い研究活動を続けている。

昭和24年設立当初から、研究発表の場として、会誌「南紀生物」を年2回(6月、12月)発行しているほか、昭和47年からは会報も年2回(3月、9月)発行している。

会誌「南紀生物」は他の研究会誌との交換活動も活発であり、国内約50件のほかイギリスやソ連の学術誌とも交換を行っている。

一般同好者から専門研究者まで幅広い会員を有する本会は、会員それぞれの立場の中で、多様な研究成果をあげているのは勿論、自然とのかかわりを通し、多くの自然愛好家を育成し、自然保護活動にも貢献している。